

平成21年度 事業報告

2009年9月1日～2009年12月27日

日本サードセクター経営者協会

I 法人設立までの総括

1. 事業に関する総括

日本サードセクター経営者協会(以下、JACEVO という)として、第 1 期中期ビジョンに基づく 3 つの機能である「つなぐ」「伸ばす」「提言する」に取り組みました。

具体的には、「つなぐ」では、設立初期ということもあり、JACEVO の存在とその必要性、意義を理解していただけるよう、全国 4 カ所にて設立記念イベントを開催しました。JACEVO 設立の契機ともなった、英国サードセクター経営者協会(ACEVO)の CEO であるスティーブン・バブ氏を招聘し、各会場を巡回しながら、日本のこれからのサードセクターの展望について議論しました。

また、「伸ばす」では、「公共サービス改革セミナー」を実施しました。日本のサードセクター組織が力強く活動し、社会に対して成果を出していく上で、公共サービスの担い手となることに大きな可能性があると考えています。そこで、セミナーでは、公共サービスのあり方について、現状の課題を整理し、利用者にとってよりよい公共サービスの提供ができるための方策について議論しました。

事業を通して見えてきたことは、日本のサードセクターの状況に危惧し、社会に対して成果の出せる組織となるために、成長を望んでいる経営者が全国に一定数いるということでした。JACEVO としては、そのような全国の経営者の声を聞きながら、サードセクターの力が発揮でき、サードセクターの経営者の立場から人々が住みよい地域、社会となるように、取り組んでいきます。

【第 1 期中期ビジョンに基づく 3 つの機能】

- ① 経営者の孤軍奮闘状況とセクター内部の縦割り構造の解消 (つなぐ機能)
- ② 個々の非営利組織に求められている、自律的で成果を追求した経営力の向上 (伸ばす機能)
- ③ 公共サービス改革へのセクターとしての方針の表明と対応 (提言する機能)

2. 運営に関する総括

設立初期においては、会員への迅速な情報提供の強化とそのインフラ整備に取り組みました。具体的には、設立直後において、全国 4 カ所で設立記念イベントを実施し、JACEVO の設立を周知し、その必要性和意義を伝えていきました。また、ホームページや会員メーリングリストを開設し、いち早く入手した情報や JACEVO からの情報を提供できるように努めました。

II 事業報告

1. サードセクター経営者をつなぐことに資する事業

(1) 年次大会の実施

■設立記念イベントの開催	
目 的	社会全体に対し、多彩なゲストスピーカーを招き、タイムリーな情報発信を行う。
内 容	<p>(日程)</p> <p>9月1日(火)東京開催 9月2日(水)名古屋開催 9月3日(木)京都開催 9月5日(土)仙台開催</p> <p>(主な内容)</p> <p>JACEVO発足にあたり、JACEVO立ち上げの契機となった全英サードセクター経営者協会(ACEVO)のCEOスティーブン・バブ氏を招聘し、英国のサードセクターの動向についてお話しいただき、参加者と意見交換を行った。</p>
対 象	サードセクター組織の経営者、関係者
直接の結果	<p>(参加者数)</p> <p>東京開催 117名 名古屋開催 89名 京都開催 65名 仙台開催 59名</p>

(2) 部会活動の促進

■「子ども子育て部会」の設置	
目 的	社会全体で次世代育成を支えていくという理念の下、サービスを切れ目なく体系的に提供できる仕組みが求められており、確実に効果のある施策を提言し、継続的に展開していくことを主張していく。
内 容	<p>(運営)</p> <p>7名の世話人により、部会を運営する。</p> <p>(主な活動)</p>

	子育て政策に関して、意見交換を行った
対 象	子ども、教育関連のサードセクター経営者
直接の結果	部会の開催 1 回市民キャビネット主催、JACEVO 協力

■「子ども子育て部会 in 名古屋」の設置	
目 的	子育てバウチャー制度について、活動者自らが自己研鑽のために調査・研究し、互いに意見交換し、よりよいサービスとなるように制度設計に対して提案していく。
内 容	(運営) 6 人の世話人により、部会を運営する。 (主な活動) 子育てバウチャー制度に関する勉強会及び意見交換を行った。
対 象	子ども、教育関連のサードセクター経営者
直接の結果	部会の開催 6 回 子育てバウチャー意見交換会の開催 1 回

■「住民自治部会」の設置	
目 的	政権交代により、「国から地方へ」という地方分権の流れが、ますます強まり、地方主権の時代であるが、単に中央政府から地方行政へと権限委譲がされるのみならず、住民自治へと発展することが重要です。市民の住民自治に根差した暮らしを確立するうえで、調査・研究し、互い意見交換し、地方における住民自治・民主主義のあり方提言をしていく。
内 容	5 人の世話人により部会を立ち上げた。 (主な活動) 住民自治区についての検討
対 象	サードセクター組織の経営者、関係者
直接の結果	部会の設置 専用MLの開設

(3) 会員のみ登録可能な ML の開設と運営

■メーリングリストの開設	
目 的	多忙な経営者同士をつなぐために、互いの情報や、経営課題を意見交換できる機会を設ける。

内 容	会員のみが登録するMLを開設した。(2009年9月15日開設)
対 象	JACEVO会員
直接の結果	メーリングリストの開設

2. サードセクター経営者の能力を伸ばすことに資する事業

(1) 公共サービス改革に関するセミナーの開催

■ 公共サービス改革セミナーの開催	
目 的	「官から民へ」「中央から地方へ」、公共サービス改革が加速的な展開をするとともに、公共サービスの担い手としてのサードセクターの力量が本格的に問われる状況を踏まえ、公共サービス問題に関し専門的なセミナーを開催する。
内 容	<p>(日程) 2009年11月7日(土)、8日(日)</p> <p>(会場) ビジョンセンター秋葉原</p> <p>(講師) 後房雄(JACEVO代表理事、名古屋大学大学院法学研究科教授) 太田達男(JACEVO代表理事、公益財団法人公益法時協会理事長) 鈴木寛(文部科学省副大臣) 桧森隆一(嘉悦大学副学長) 福嶋浩彦(前我孫子市長、東京財団上席研究員) 藤岡喜美子(JACEVO執行理事兼事務局長、特定非営利活動法人市民フォーラム21・NPOセンター事務局長)</p> <p>(主な内容) 公共サービスの基礎理解、以下の点における公共サービス改革の核心について理解を深め、今後サードセクターとしてどのような提言をしていくかということについて議論した。</p> <p>① 公的資金を用いた公共サービスの重要な提供主体としてサードセクターを位置づけ、サードセクターの価値を活かせるような制度設計 ② サードセクター組織の創意工夫が活かされるような包括的、成果志向的の事業委託や間接費を含むフルコストの保障 ③ 準市場メカニズムの導入による公共サービスの質的向上と量的多様性の確保</p>

対 象	サードセクター組織の経営者、関係者
直接の結果	参加者数 22 名(参加者 17 名、事務局 5 名)

(2) コンサルタントの派遣

■個別団体コンサルティング	
目 的	JACEVOの理事、正会員による、フロントライン組織への個別コンサルティングを実施する。
内 容	会員が経営する組織の課題に対し、JACEVO からコンサルタントを派遣し、個別コンサルティングを行った。
対 象	サードセクター組織
直接の結果	1 団体の個別コンサルティング

(3) 会員のみアクセス可能なホームページの開設

■ホームページの開設	
目 的	サードセクターの経営者の存在や、サードセクター形成の必要性を広く社会全体に発信する。また会員に対し、会員限定のホームページを開設し、経営に有効な情報を発信する。
内 容	JACEVOとしてのウェブサイト開設と会員のみログイン可能な会員ページを設定した。
対 象	社会全体、JACEVO会員
直接の結果	HP の開設

Ⅲ 組織の運営に係る事項

1. 理事会の開催

(1) 第1回理事会

日時: 2009年9月1日

場所: 日本財団ビル2階会議室

出席: 決議に必要な出席理事の数5名、出席7名、欠席2名

決議事項: 代表理事、及び執行理事の互選について、事務局長の任命について、社員の入会について

(2) 第2回理事会

日時: 2009年10月30日

場所: 東京ボランティア・市民活動センター 会議室C

出席: 決議に必要な出席理事の数5名、出席6名、欠席3名

決議事項: 定款変更について、会員の新規入会について、決算見直しについて

(3) 第3回理事会

日時: 2009年12月14日

場所: 日本サードセクター経営者協会事務所

出席: 決議に必要な出席理事の数5名、出席5名、欠席4名

決議事項: 会員の新規入会について、決算見直しについて